

早期震央位置推定の精度を向上する地震計位置の選定方法

岩田直泰 丹羽健友 山本俊六

地震後の即時的な警報出力を目指す早期警報用地震計は、微弱なP波の情報を利用するため、地震検知点の環境が地震諸元推定の精度に影響を与えることが予想されます。しかし、地震検知点の環境の影響は定量的に明らかになっていません。本研究は、精度の高い震央位置推定に向けて、サイト特性(表層地盤の状態や雑振動の状況など)と震央位置推定誤差の統計的な関係を分析し(図参照)、地震検知点の位置選定方法を提案すると共に、その選定効果について検討しました。検討の結果、地震検知点を新たに選定する場合には、まず表層の地盤が固い地点であり、その上で雑振動の小さい地点を選定することが適切であることが明らかとなりました。

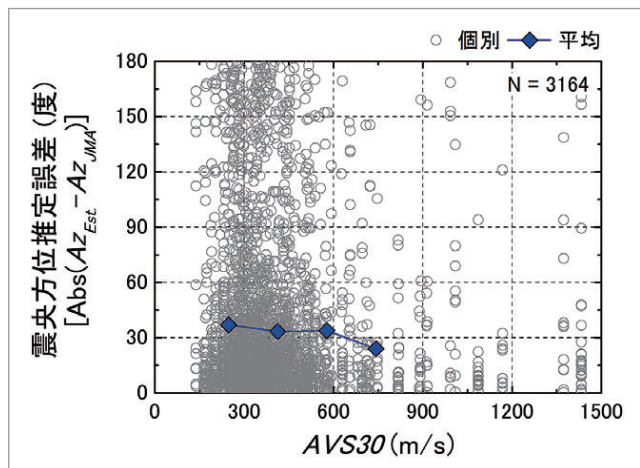


図 表層地盤特性 (AVS30) と震央方位推定誤差の関係